

中部圏広域地方計画

計画概要(中間とりまとめ(素案))

目次

■ 課題、将来像、目標	P 1～
■ 目標とプロジェクトの関係	P 6～
■ 各広域連携プロジェクト	
(1) 暮らしやすさ地域力向上プロジェクト	P 7～
(2) 快適・安全安心な生活環境実感プロジェクト	P 8～
(3) ひとつづくり・つながり構築プロジェクト	P 9～
(4) 中部・北陸圏強靱化プロジェクト	P 10～
(5) 環境・国土サステナビリティプロジェクト	P 11～
(6) 世界をリードする産業進化プロジェクト	P 12～
(7) 日本中央回廊まんなか圏域拡大プロジェクト	P 13～
(8) 新時代の観光交流促進プロジェクト	P 14～
(9) 他圏域連携プロジェクト	P 15～
■ 計画の推進等	P 16～

中部圏における課題

【災害】 南海トラフ地震 ～ 人口の約半分が被害を受ける市町も

(出典)

- ・長野県「第3次長野県地震被害想定調査報告書(平成27年3月)」
- ・岐阜県「平成23～24年度 岐阜県南海トラフの巨大地震等被害想定調査」
- ・静岡県「第4次地震被害想定関連資料 第一次報告(平成25年6月)参考」
- ・愛知県「平成23年度～25年度 愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査報告書(平成26年3月)」
- ・三重県「地震被害想定結果(数表等)(平成26年3月)」

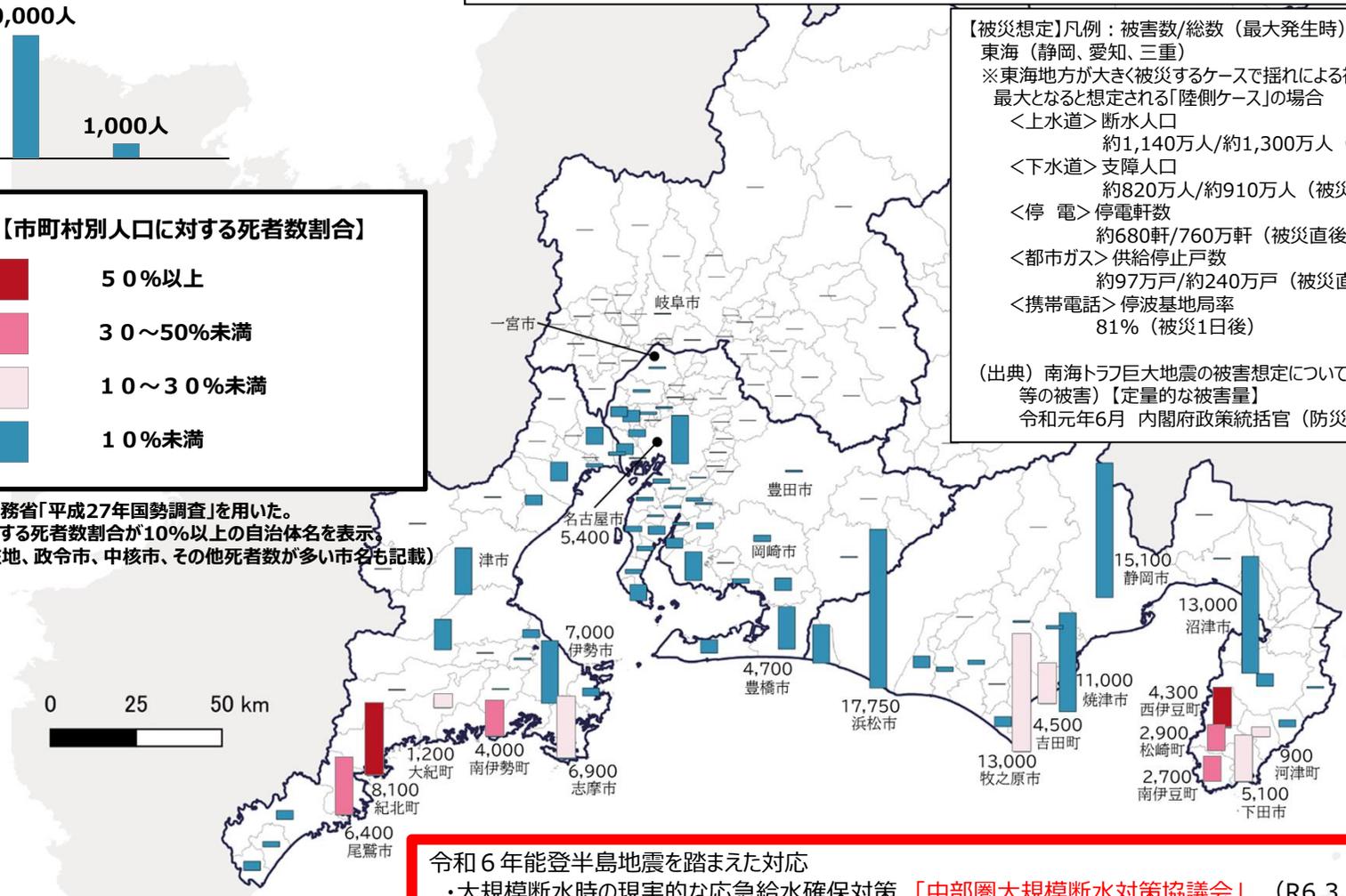
【死者数(実数)】



【市町村別人口に対する死者数割合】



※人口は総務省「平成27年国勢調査」を用いた。
 ※人口に対する死者数割合が10%以上の自治体名を表示。
 (県庁所在地、政令市、中核市、その他死者数が多い市名も記載)



【被災想定】凡例：被害数/総数(最大発生時)

- 東海(静岡、愛知、三重)
- ※東海地方が大きく被災するケースで揺れによる被害が最大となると想定される「陸側ケース」の場合
- <上水道>断水人口
約1,140万人/約1,300万人(被災1日後)
- <下水道>支障人口
約820万人/約910万人(被災直後)
- <停電>停電軒数
約680軒/760万軒(被災直後)
- <都市ガス>供給停止戸数
約97万戸/約240万戸(被災直後)
- <携帯電話>停波基地局率
81%(被災1日後)

(出典) 南海トラフ巨大地震の被害想定について(施設等の被害)【定量的な被害量】
 令和元年6月 内閣府政策統括官(防災担当)

令和6年能登半島地震を踏まえた対応

- ・大規模断水時の現実的な応急給水確保対策 「中部圏大規模断水対策協議会」(R6.3.19設立)
- ・半島・沿岸部における初動対応を今後検討へ (第15回南海トラフ地震対策中部圏戦略会議 R6.5.15)

中部圏における将来像

中部圏で暮らす人々のWell-beingを向上するためのビジョン

【目指す中部圏の将来像】

生活の質が高く持続的に成長する強靱な中部圏

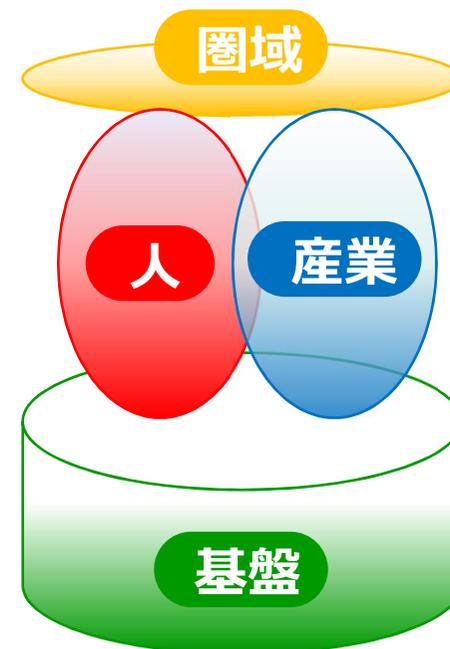
- 豊かな自然、固有の歴史・文化、ものづくりをはじめとした多様な産業を有する中部圏の各地域が、個性を磨き、世界から人が集まり、すべての人が活躍できるQOLの高い魅力的な地域をつくる。
- 美しい自然を維持しながら、産学官の連携のもと、我が国の社会・経済を支える中部圏の特性を活かし、気候変動による災害の激甚化・頻発化、巨大地震やカーボンニュートラルへの対応などの世界的課題に挑み、新たな産業を育み、持続的に成長する強靱な地域をつくる。
- 交通・情報通信ネットワークの拡充により日本中央回廊の効果を最大化し、中部圏内の多様な地域が補完・連携しあって中部圏が一体となることで、我が国の社会・経済を牽引し、世界の拠点としての機能を果たす。

将来像実現に向けた目標	
目標1: 魅力あふれる地域の創出 1-1 活力ある地方の創生 1-2 暮らしやすい地域生活圏の形成	人 地域の個性を磨きすべての人が活躍し助け合う地域をつくる 生活の利便性を高め、豊かさが隅々まで行き渡る地域生活圏を形成する
目標2: ものづくりを礎に世界をリードし続ける産業への進化 2-1 ものづくりの高付加価値化と新産業の創出による産業の強化 2-2 持続可能な産業の構築	産業 世界に誇るものづくり技術を礎に、クリエイティブな仕事、イノベーションを生み出す地域となる 脱炭素化で世界をリードするとともに、レジリエンスの向上による持続可能な産業構造への転換を図る
目標3: 日本中央回廊による効果を最大化する圏域づくり	圏域 ヒト、モノ、カネ、情報が集まる日本中央回廊の中心で、アジアの成長を牽引できる拠点となる
目標4: 恵みの活用、圏土の強靱化 4-1 魅力ある地域資源の保全・活用 4-2 地域が直面するリスクへの対応	基盤 3000m級の山々、川、海の恵みを受容し、保全活用する 南海トラフ地震や激甚化する豪雨災害、感染症などのリスクから地域をまもる

国土づくりの戦略的視点

- ① 民の力を最大限発揮する官民連携 ② デジタルの徹底活用 ③ 生活者・事業者の利便の最適化
 ④ 縦割りの打破(分野の垣根を越える横串の発想)

4つの目標
関係イメージ



中部圏における目標 1 と目標 2

目標1 魅力あふれる地域の創出

目標1-1 活力ある地方の創生

～地域の個性を磨き、すべての人が活躍し助け合う地域をつくる～

- (1) 人を惹きつける固有の魅力創発
- (2) 地域を支える人材の育成・確保
- (3) 安心して暮らせる社会の形成
- (4) 観光・交流の促進による地域力向上
- (5) 地域産業の活性化による地域力向上
- (6) 多様な主体による共助社会づくり

目標1-2 暮らしやすい地域生活圏の形成

～生活の利便性を高め、豊かさが隔々まで行き渡る
地域生活圏を形成し地域力を向上する～

- (1) 誰一人取り残さないためのデジタルの徹底活用と
リアルの融合
- (2) 持続可能な生活圏の形成
- (3) 快適で安全・安心な生活環境の構築
- (4) 官民共創の推進と関係人口の拡大・深化



あいち朝日遺跡ミュージアムの運営
【愛知県提供資料】

目標2 ものづくりを礎に世界をリードし続ける産業への進化

目標2-1 ものづくりの高付加価値化と

新産業の創出による産業の強化

- ～世界に誇るものづくり技術を礎に、
クリエイティブな仕事、イノベーションを生み出す地域となる～
- (1) 高度なものづくり技術の活用による新たな産業の創出
 - (2) 新たなビジネスモデルの展開による付加価値の創出

目標2-2 持続可能な産業の構築

～脱炭素化で世界をリードするとともに、レジリエンスの向上による
持続可能な産業構造への転換を図る～

- (1) 国際競争に優位性を発揮する産業構造の転換と基盤強化
- (2) 中部圏の戦略産業の強化
- (3) 中堅・中小企業の振興
- (4) 環太平洋・環日本海に拓かれた一大産業拠点・中部北陸圏
の連携強化
- (5) 産業を担う人材の育成・確保



自動運転の実証実験
【愛知県提供資料】

中部圏における目標3と目標4

目標3 日本中央回廊による効果を最大化する圏域づくり

目標3 日本中央回廊による効果を最大化する圏域づくり
～日本中央回廊の中心として、ヒト、モノ、カネ、情報が集まり、我が国の成長を牽引する拠点となる～

- (1) 日本中央回廊の効果の最大化
～日本のハートランド・中部～
- (2) リニア中央新幹線開業による新たな価値の創造
 - ① 国際競争力のある新たな圏域構造への転換
 - ② リニア名古屋駅を核とした圏域づくり
 - ③ リニア中間駅を核とした地域づくり
 - ④ 東海道新幹線沿線エリアの新たなポテンシャルを活かした地域づくり
- (3) 交通ネットワーク強化による広域的波及
- (4) 国際大交流時代を拓く観光・交流
 - ① 国際交流の窓口の機能強化
 - ② 国内外の観光・交流の促進
 - ③ 中部圏・北陸圏の国際的な広域周遊ルート強化
 - ④ クルーズの振興、普及



<中部圏の強み> 日本真ん中で交通の要衝
【国土審議会第8回計画部会 配布資料を基に作成】

目標4 恵みの活用、圏土の強靱化

目標4-1 魅力ある地域資源の保全・活用
～3,000m級の山々、川、海の恵みを楽しみ、保全活用する～

- (1) 自然環境と健全な生態系の保全・再生
- (2) カーボンニュートラルの実現による持続可能な地域づくり
- (3) 適切な国土保全
 - ① 健全な循環型国土の構築
 - ② 物質循環の安定的確保による地域循環圏の形成
 - ③ 人口減少化における国土の利用、管理

目標4-2 地域が直面するリスクへの対応
～南海トラフ地震や激甚化する豪雨災害、感染症などのリスクから地域をまもる～

- (1) 南海トラフ地震に備えた強靱な国土の構築
- (2) 頻発化、激甚化する自然災害とあらゆるリスクへの対応
 - ① 自然災害等へ対応
 - ② 都市の防災・災害対策の推進
 - ③ 産業の防災力強化
 - ④ 広域的な連携による支援体制の強化
- (3) ネットワークの多重性・代替性の確保、首都圏バックアップ体制の強化
- (4) インフラの維持・整備・活用
 - ① 戦略的なメンテナンスの推進
 - ② 地域の守り手としての建設業の強化



第14回南海トラフ地震対策中部圏戦略会議の様子
【中部地方整備局資料】

目標とプロジェクトの関係

目標1 魅力あふれる地域の創出

目標1-1 活力ある地方の創生

暮らしやすさ地域力向上 P J (地域力向上)

ひとづくり・つながり構築 P J (人材確保・育成)

新時代の観光交流促進 P J (観光交流)

目標1-2 暮らしやすい地域生活圏の形成

暮らしやすさ地域力向上 P J (地域力向上)

快適・安全安心な生活環境実感 P J
(生活圏のデジタル・交通環境)

ひとづくり・つながり構築 P J (人材確保・育成)

目標3 日本中央回廊による効果を最大化する圏域づくり

目標3 日本中央回廊による効果を最大化する圏域づくり

日本中央回廊まんなか圏域拡大 P J
(日本中央回廊の最大化)

新時代の観光交流促進 P J (観光交流)

目標2 ものづくりを礎に世界をリードし続ける産業への進化

目標2-1 ものづくりの高付加価値化と新産業の創出による

産業の強化

世界をリードする産業進化 P J (産業全般)

目標2-2 持続可能な産業の構築

世界をリードする産業進化 P J (産業全般)

目標4 恵みの活用、国土の強靱化

目標4-1 魅力ある地域資源の保全・活用

環境・国土サステナビリティ P J
(環境・国土保全&国土基盤の高質化)

目標4-2 地域が直面するリスクへの対応

中部・北陸圏強靱化 P J (災害対応)

暮らしやすさ地域力向上プロジェクト

【目的・コンセプト】

人を惹きつける固有の魅力創出や誰一人取り残さないためのデジタルの徹底活用とリアルとの融合、持続可能な生活圏を形成するとともに、地域産業や農林水産業の活性化や新たなビジネスモデルの展開による付加価値の創出を通じて、暮らしやすい地域生活圏を形成し地域力の向上を図る。

- ① 人を惹きつける地域力向上
- ② 地域生活圏の形成
- ③ 地域産業の活性化
- ④ 農林水産業の活性化

事業概要 (デジタル地域通貨「(仮称) Mie-Coin」事業)

地域の利益を地域で循環させる決済基盤となるデジタル地域通貨の普及事業

＜サービス展開による利便性の向上＞

- Service 1 地域で循環するデジタル地域通貨
- Service 2 地域振興券等行政サービス連携
- Service 3 外貨を呼び込むさと納税連携
- Service 4 新たな価値を創出する地域投資

＜先進技術を活用した利便性の向上＞

顔認証決済

クレジットカード連携

NFC活用

マイナンバー連携

＜利用を活性化させる企画連動サービス＞

- ① 地域振興券や納税など行政サービスとの連動
- ② 健康促進の取り組みとなるヘルスケア・サービスとの連動
- ③ 観光における誘客促進となる旅行チケットとの連携

サービスイメージ図 (概要)

事業の実施によって解決したい課題又は実現したい地域のすがた

取組内容

2022年度事業 デジタルサービスを住民や観光客などに届けるためのユーザーインターフェース構築

【5町地域住民】

自分に合った情報配信で、利便性向上、デジタル利用が促進！

【地域事業者】

地域商品券などで地域の消費拡大！

【観光客】

お得な地域通貨で地域の消費促進！

土地勘のない観光客も、行きたいところに楽々お出かけ！

(A) 地域ポータルサイト

- ・パーソナライズメニュー
- ・地域情報/学校情報
- ・利用者インセンティブ管理

(B) デジタル地域通貨

- ・らくらくキャッシュレス決済
- ・専用端末不要
- ・地域ポイント/商品券連携

(C) MAPベースポータル

- ・位置情報起点のPUSH
- ・Twitter活用の情報発信
- ・On/Offで防災情報発信

2023年度以降 サービスの継続的な拡充で、より便利で魅力的な地域へ、自走可能な事業へと発展

大好きな地元でリモート就業

地域ECで儲かる地元産業

メタバース学校で大勢の友達と楽しく勉強！

有事の際は、リアルタイムな情報配信で安全確保

快適・安全安心な生活環境実感プロジェクト

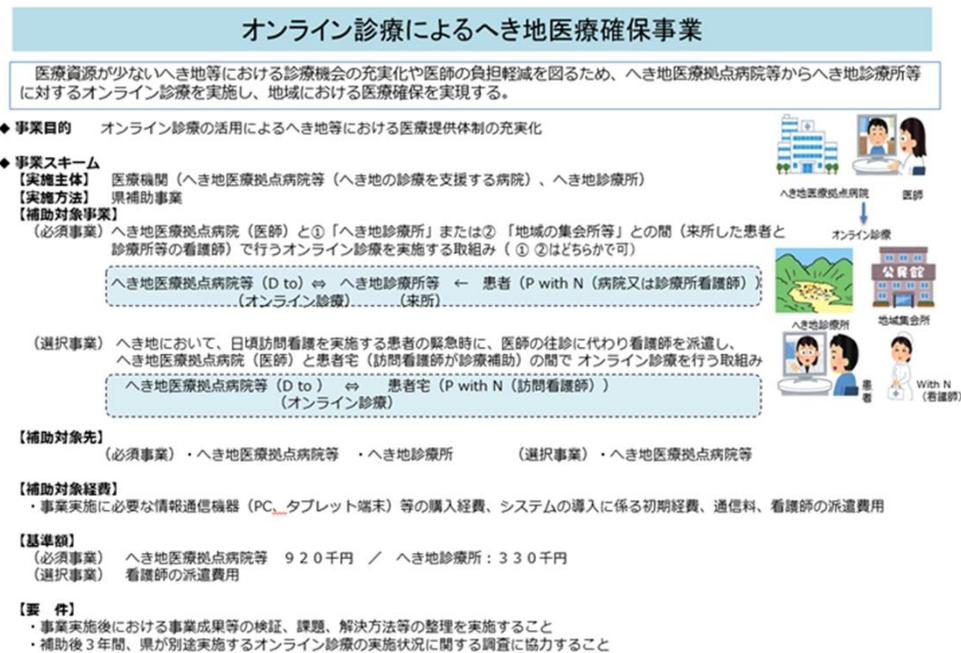
【目的・コンセプト】

ビッグデータの活用やデジタル人材の育成などデジタル活用基盤の強化を推進するとともに、デジタル技術を活用した地域防災力向上やグリーン化、地域公共交通のリ・デザイン、地域コミュニティと連携した安全対策などを通じて、移動や仕事といった暮らしの様々な場面における効率性や利便性、安全性、地域との関わりやすさ等を向上させ、誰もが快適で安全・安心な生活を実感できる生活環境の構築を目指す。

- ① 利便性と移動の質的向上
- ② 安全安心な生活環境構築
- ③ デジタル活用基盤の強化



へき地診療所にて医師からオンライン診療を受ける患者
【岐阜県資料】



オンライン診療によるへき地医療確保事業
【岐阜県資料】

ひとづくり・つながり構築プロジェクト

【目的・コンセプト】

未来を担う若者世代や女性、労働者・生活者として暮らす外国人など誰もが輝き活躍する社会の形成や、エッセンシャルワーカーの働きがいと処遇の改善、地方大学の魅力向上、関係人口の拡大など、多様な人材を育てる社会の形成を目指す。

また、地域の担い手が自由に活動できる場の確保やコミュニティの再生、官民連携による多様な主体の参画や多様な暮らし方・働き方を後押しするなど、共助社会や人々がつながり合う社会を実現する。

- ① 誰もが輝き活躍する社会の形成
- ② 多様な人材を育てる社会の形成
- ③ 人々がつながりあう社会の形成



「ワーケーション推進事業」モデル実証事業
【静岡県資料】

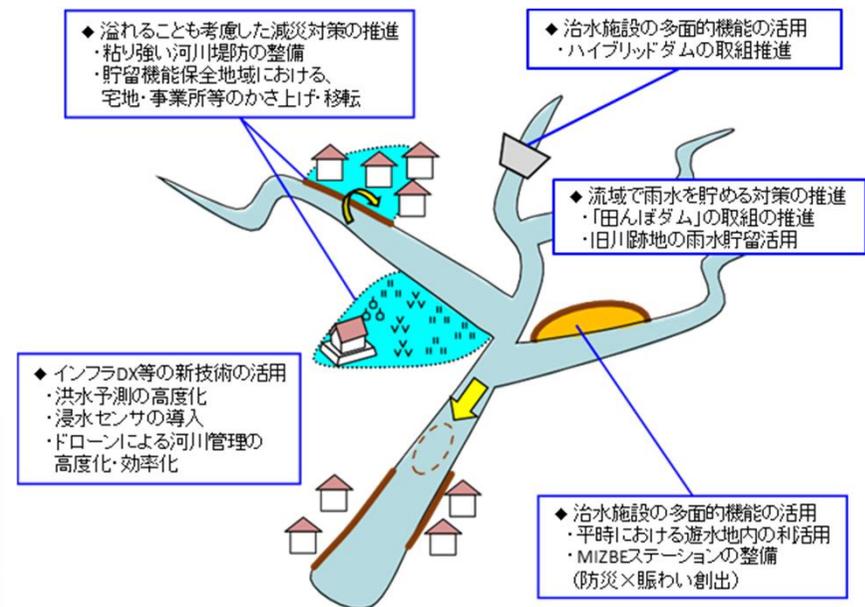


中部・北陸圏強靱化プロジェクト

【目的・コンセプト】

南海トラフ地震に備えた強靱な国土の構築に向けた産学官民の各機関が連携した防災・減災対策の推進や、ハード対策に加え広域的かつ実践的な地震・津波防災訓練の実施等のソフト対策の推進、頻発化、激甚化するための事前防災から復旧・復興までの時間軸を考慮した取組の推進、都市や産業の防災力強化、ネットワークの多重性・代替性の確保、首都圏バックアップ体制の強化を通じて、中部圏と北陸圏の地理的特性を活かした強靱な圏域を形成する。

- ① 南海トラフ地震への備え強化
- ② 大規模自然災害への備え強化
- ③ 都市の防災力強化
- ④ 産業の防災力強化
- ⑤ ネットワークの多重生・代替性確保
- ⑥ 太平洋・日本海 2 面活用による広域的なバックアップ体制強化

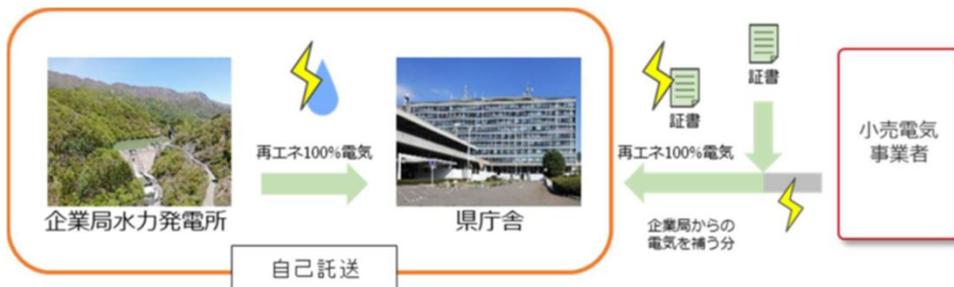


環境・国土サステナビリティプロジェクト

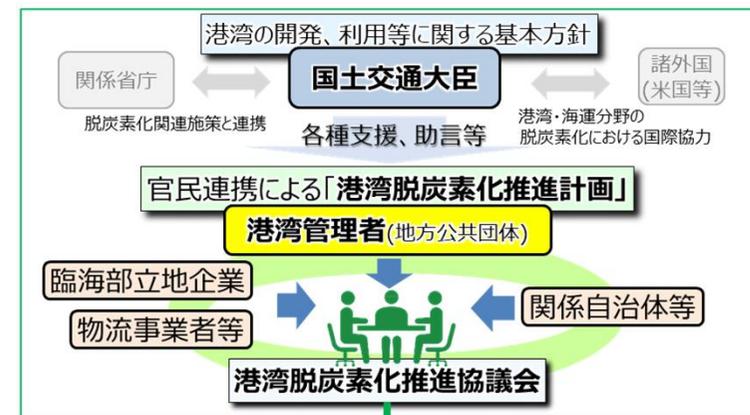
【目的・コンセプト】

自然と共生した持続可能な国土・地域づくりや、多様な植物、動物、生態系の維持、環境教育を通じた生物多様性に関する理解促進など、ネイチャーポジティブの推進を図るほか、まちづくりや農林水産業のグリーン化、木材利用の拡大などを推進し、カーボンニュートラルを実現する。また、森林や水辺空間の保全、山地から海岸までの総合的な土砂管理など、人口減少下の適正な国土利用・管理を目指すとともに、予防保全型メンテナンスへの本格転換や新技術・デジタルの活用、建設業の担い手確保など、国土基盤の高質化を目指す。

- ① ネイチャーポジティブ推進
- ② カーボンニュートラル実現
- ③ 人口減少下の国土利用・管理
- ④ 国土基盤の高質化



企業局電力を活用した県庁舎の使用電力100%再生可能エネルギー化
【長野県資料】



- 「港湾脱炭素化推進協議会」の構成員の例
- ✓ 港湾管理者(協議会を組織)
 - ✓ 港湾脱炭素化促進事業の実施が見込まれる者(立地企業、港湾協力団体等)
 - ✓ 関係地方公共団体(港湾所在市町村等)
 - ✓ 港湾利用者(船社、物流事業者等)
 - ✓ 学識経験者 等

カーボンニュートラルレポート形成
【中部地方整備局資料】

世界をリードする産業進化プロジェクト

【目的・コンセプト】

高度なものづくり技術の活用による新たな産業の創出や、新たなビジネスモデルの展開による付加価値を創出するとともに、国際競争に優位性を発揮する産業構造への転換と基盤強化、中部圏の戦略産業の強化、中堅・中小企業の振興、産業を担う人材の育成・確保や産業を支える基盤の強化を通じて、国際社会に先んじたイノベーション創出に取り組む。

- ① 新産業とイノベーションの創出
- ② 産業構造の転換
- ③ 戦略産業の強化
- ④ 中堅・中小企業の振興
- ⑤ 産業を担う人材の育成・確保
- ⑥ 産業を支える基盤の強化



岐阜県ドローンビジネス推進研究会の取組み
【岐阜県資料】

日本中央回廊まんなか圏域拡大プロジェクト

【目的・コンセプト】

リニア中央新幹線開業による新たな価値の創造や交通ネットワーク強化による広域的波及、日本中央回廊の効果の最大化を通じて、国土全体の連結、世界との結びつきの強化を図るとともに、他の大都市圏へのアクセス性の良さと中部圏が持つ住みやすさを活かし東京一極集中の是正において選ばれる地域としてのポテンシャルを一層高めていく。

- ① リニア名古屋駅を核とした圏域形成強化
- ② リニア中間駅を核とした圏域形成強化
- ③ 東海道新幹線エリアの圏域形成強化
- ④ 三遠南信エリアの圏域形成強化
- ⑤ 越境連携による都市圏拡大強化
- ⑥ 日本中央回廊の効果을最大化する
交通基盤強化



名古屋駅のスーパーターミナル化
【名古屋市資料】

基本戦略を支える基盤づくり

(1) リニア三重県駅を核とした交通ネットワークの形成

POINT! 県内外への玄関口としての機能を高め、リニアがもつ速達性の効果を県内全域に広げます!

- 取組1 新たな玄関口としての駅前交通ターミナル整備
- 取組2 新たな玄関口とつながる道路ネットワークの整備
- 取組3 鉄道ネットワークの強化・充実
- 取組4 新たな二次交通ネットワークの形成

リニア三重県駅を核とした交通ネットワークイメージ

(2) リニア三重県駅を核としたまちづくり

POINT! 何度も訪れたいくなる独自性のある駅や魅力あふれる駅まち空間をデザインします!

- 三重県駅周辺の機能配置や、整備・運営手法、役割分担等の検討
- 隣接する地域を含めた広域のまちづくりの検討
- 災害時の支援拠点としての機能・役割を検討

出典：三重県地域公共交通計画（R.6.3）イメージ加工

国土交通省「交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン（R.3.4）」
鉄道駅と空港ビルマ等の交通結節点のイメージ © skyDrive
© Heathrow Airports Limited

「三重県リニア基本戦略」の策定
【三重県資料】

新時代の観光交流促進プロジェクト

【目的・コンセプト】

MICE 機能の拡充・強化や国際的なスタートアップ・エコシステムの構築、マルチモーダルな周遊観光ルートの形成など国際的な広域観光交流や、中部圏・北陸圏の両圏が連携した広域的なプロモーションに加え、観光産業の高付加価値化やDX化、地域ならではの体験コンテンツの創出など、地域の魅力を活かした観光交流を強化する。

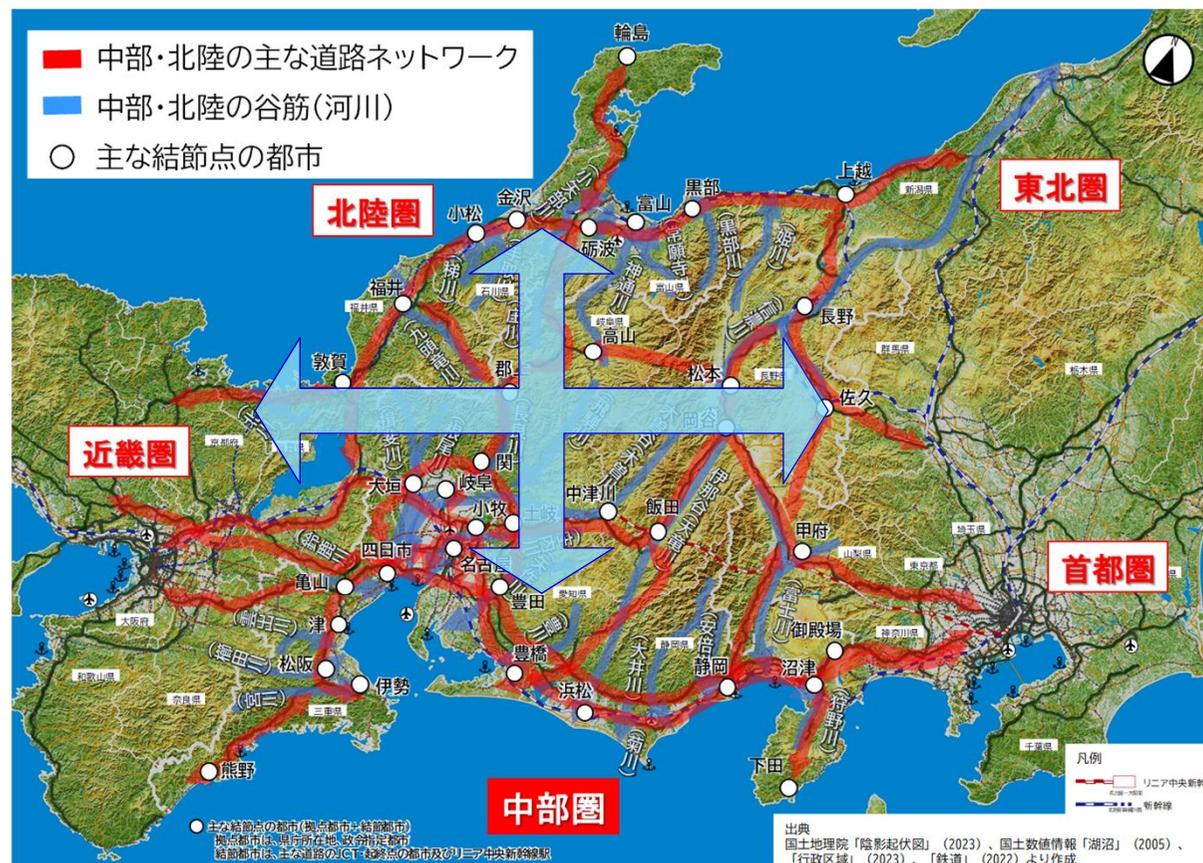
- ① 国際的な広域観光交流の強化
- ② 太平洋・日本海広域観光交流の強化
- ③ 地域の魅力を活かした観光交流の強化



他圏域連携プロジェクト

【目的・コンセプト】

北陸・中部の両圏域及び他圏域については、交通基盤整備の進展等により日本海から太平洋にわたる地域の一体感が強まりつつあるとともに、国際観光ルートの構築を始め、産業、物流、防災・減災、国土の保全・管理の一体的推進等の共通の課題を有していることから、引き続き、日本海から太平洋にわたる発展の全体構想を目指す。



計画の推進等

第1章 他圏域との連携

圏域の発展を支える高規格道路ネットワーク整備や高速鉄道、港湾施設整備等の社会基盤整備を連携して推進していくとともに、観光・防災・医療分野等における隣接5 圏域（首都圏、近畿圏、北陸圏、東北圏）との連携施策については、円滑な進捗が図られるよう、施策の進捗状況を適切に把握し、進捗していく中での課題等に対応していく。

第2章 計画の推進管理

第1節 多様な主体の参画・協働

1. 一体的な推進体制

本計画の推進に当たっては、協議会構成員を始めとした国、県、市町村、経済界等の多様な主体が、十分に連携・協働を図りつつ、計画が描く将来像の実現に向けた各種施策の展開・具体化を推進する。

2. 多様な主体との連携

行政のみならず、住民・NPO・大学・企業等の多様な主体を地域づくりの担い手と位置付け、これらの主体が従来の公の領域に加え、公共的価値を含む私の領域や、公と私との中間的な領域で協働するという考え方に立って、多様な民間主体の発意・活動を積極的に地域づくりに活かす取組を促進する。

第2節 他計画・施策との連携

国土強靱化基本計画、国土利用計画（全国計画）、各県の総合計画や国土強靱化地域計画を始めとする各種計画との整合を図り、連携を強化する。

第3節 計画の進捗管理

本計画の実施に当たっては、その評価・見直しを効率的かつ効果的に実施していくため、プロジェクトの進捗管理に資するモニタリング指標に基づき、本計画のモニタリングを適切に行う。